

県政をぐっと身近に！ ぐんじとしのりの県議会報告

2007/1/20 Vol. 7 西の原 2-3-6-104 TEL/FAX 45-8362

E-MAIL ID / mmirai@kitemachi.com

寒中お見舞い申し上げます。

- 県議会 12 月定例会報告(2)

11 月 28 日(火曜日)から開催されました県議会は、12 月 15 日(金曜日)までの日程で付託されていた議案の審議が終了し、閉会しました。(今回の定例会議会で提案された議案は、認定子ども園の設置に関する条例案など 17 議案や日本司法支援センター(法テラス)の更なる体制整備・充実を求める意見書など議員発議案 7 件等でした。)今回は、私が所属する健康福祉常任委員会の内容と民主党県議団からの「2007 年度予算編成」に対する要望について抜粋してご報告いたします。

健康福祉常任委員会の内容について

千葉県 常任委員会の当面する諸問題等について、2 点御報告させていただきます。

総合的な自殺対策について

千葉県の自殺者数は、全国と同様に平成 10 年に急増し、以後 年間 1300 人前後で推移し、死亡原因の第 6 位を占め、大変深刻な状況となっています。

県では、自殺対策として、関係機関との情報の共有と連携を目的とした自殺予防対策連絡会議の開催や、県民や事業所関係者への啓発・情報提供、精神科医師と一般診療科医師とのネットワークづくり等に取り組んでいるところです。

今後、自殺対策をより効果的に実施するには、特に、首都圏においては各都県市間での通勤者が多いことから、居住地と勤務地双方での啓発、情報の共有や連携等、広域的に取り組む必要があります。

このため、11 月 15 日に開催された八都県市首脳会議に、千葉県から「総合的な自殺対策の推進」を議題として提案し、課題の整理や八都県市共同の対策、国への要望について、首都圏連合協議会で検討していくことで、八都県市首脳の承認を得たところです。

「東京女子医科大学附属八千代医療センターの開院について」

東京女子医科大学が八千代市に整備を進めてきました八千代医療センターが 12 月 8 日に開院しました。

同センターは、病床数 355 床で、365 日 24 時間体制で第三次救急医療機関並みの救急医療を行うほか、他の医療機関と連携して地域医療に取り組む等、地域の中核的病院として機能することが期待されています。

今後、県内では 2 か所目となる総合周産期母子医療センターの指定に向けて、同センターと協議を進めていきたいと考えています。

(ぐんじとしのりより 市民の皆様へ ~ 印西市の「医療施設誘致」の考え方について)

昨年(2006)の 12 月 15 日(金曜日)に「医療整備基本構想策定委員会」が開催され、その席上で市長から以下のような考え方が示されました。

「これまで委員の皆様のご意見によりまして、医療施設の基本機能・診療科目・望まれる併設機能など当市に必要な医療施設についての諸条件を整理していただきました。今後はこの諸条件に基づきまして、医療施設を誘致してまいりたいと考えております。医療施設の規模につきましては、ご意見にありましたように 200 床以上は必要なのではないかと考えておりますし、また位置については市域内で交通アクセスの良い場所が適当なのではないかと考えております。」市では、現在、医療整備基本構想を策定することを第一とし、基本構想は今月下旬に最後の策定委員会が予定されており、その後、市民の皆様へ発表されます。

= 私は千葉県に対して引き続き働きかけをすると共に、皆様に情報提供を行なっていきます。

* 県政報告会(1 月 21 日午前 10 時~開催 / NT 駅前センター)で病院誘致の現状について報告します。

民主党県議団 2007年度予算編成に対する要望について

* 紙面の都合で抜粋して以下に提示いたします。(全文を私のホームページで公開予定です。)

行財政システムの改革

- ・ 普通会計が直接になう債務のみならず、公営企業、公社、第三セクター、など普通会計が実質的に負担する債務の徹底見直し改善
- ・ 真の財政再建に向けた財政再建プランの構築（起債残高の減少へ）

雇用・労働問題

- ・ 若者、女性の就労対策の充実
- ・ 県の積極的な障害者雇用
- ・ 短時間公務員制度の創設
- ・ 起業家支援の強化
- ・ 再就職斡旋システムの確立
- ・ サービス残業の根絶

保健福祉政策・人権政策の充実

- ・ 高齢者認知症予防対策の充実強化
- ・ 児童相談所の拡充。一時保護施設の充実（児童虐待に対する相談体制と立ち入り強化）
- ・ 小児慢性特定疾患の県独自の医療費助成
- ・ グループホームの増設と民間住宅の福祉施設への転用
- ・ 情緒障害児短期治療施設の設置
- ・ 障害者自立支援法によるサービスの削減を県独自で実施する
- ・ 『障害のある人もない人も共に暮らしやすい千葉県づくり条例』を具体的にすすめる
- ・ 所得格差による高齢者福祉・介護保険のひずみの解消

教育改革の推進

- ・ 家庭教育の支援強化（現状の家庭教育の実態を徹底的に調査することから、不登校、いじめ、引きこもりの対策の実践的支援を行う）
- ・ 不登校、いじめ、暴力、引きこもりの原因調査と再生プログラムの作成
- ・ 私学教育の振興と補助金の完全実施
- ・ 若者の働く意欲向上への取り組み、キャリア教育の充実

自然環境の保全

- ・ 不法投棄の監視の強化
- ・ 産業廃棄物不法投棄対策と自治体への権限委譲
- ・ 手賀沼・印旛沼の浄化のための整備
- ・ 農業後継者の育成対策
- ・ 里山・森林の確保と整備

その他／

千葉県経済と産業の活性化（アクアラインの通行料金の引き下げによる交通渋滞の緩和 等）公共交通機関への要望実現の強化

「新春の集い」を行ないます。

* 日時 1月27日(土曜日) 午後2時より * 場所 ホテルマークワン 千葉ニュータウン

* 会費 ¥5000

ゲスト 藤田正美 氏 「これからの日本と地方自治」

1948年生まれ。東洋経済新報社で経済記者を14年勤めた後、ニューズウィーク日本版創刊に参加。

1994年から2000年まで7年間、同誌編集長、2001年より2004年まで同誌編集主幹。

現在フリージャーナリストとして活動。<千葉テレビ「Cマスター」(9時～)月曜日に出演中>

いつもご声援、ご支援ありがとうございます。この紙面へのご意見に限らず、皆様からのご提言、ご批判、ご相談はいつでも承ります。あるべき政治の姿を求めて皆様と手を携えていきたいと思っております。

よろしく願いいたします。

ぐんじとしのり